

児童会選挙と引継式

朝晩も少し涼しくなり、長かった夏がようやく終わったようです。しかし、急に寒く感じることもあり、体調を壊す児童もいたりして、気を付けないといけないと感じるようになりました。

さて、学校も前期が終了し後期になりました。児童会も切り替えの時期になり、9月27日に児童会選挙を行いました。前期は運動会といった大きな行事があり、子どもたちの活動の中心になるのが児童会です。運動会のテーマなどを決めたり、係分担の案を作ったりと児童会は結構忙しいものです。

後期は学校文化祭といった行事を行い、やはり児童会がその中心となります。今回の児童会選挙では、5・6年生全員が4つの役職に立候補しました。全員立候補したことには少し驚かされました。私の経験では、大きな学校でも信任投票が多くあり、あまり選挙にはなりません。また、選挙公約をつくって発表します。その公約を聞いていると、すべてが自分たちの学校生活をよく見て、そこから作りあげた公約でした。児童会活動の目的に自治能力の育成があげられます。自分たちの学校生活をより良くするために、児童会があるのです。そう考えると公約を自分たちで作り実行することが大切になります。これから、その公約をどれだけ実行できるか、児童会以外の子どもたちも、それをチェックすると同時に協力していけるかが今度大切になります。私たち教職員もしっかり支えていきたいと思えます。

引継式では、前期児童会役員が自分たちの頑張った点などを発表し、後期児童会役員にその思いを引き継ぎました。小さな学校ですが、児童会の役割はとても大きいです。後期役員も頑張ってもらいたいと思えます。

令和6年度

10月10日

第6号

校長 小幡英二

野矢小学校
ホームページ

職員の退職について

本校に勤務していました大塚義介先生が、10月2日逝去しました。大塚先生は本校の校長として、平成26・27年の2年間勤務しました。その後、みつばこども園や緑陽中学校に勤務した後、今年度から野矢小学校で勤務していました。その朗らかな性格から、子どもたちから「義介先生！」と呼ばれ大変慕われていました。また、野矢の地域の方たちとも交流があり、地域から信頼される先生でもありました。

9月30日に体調を壊され、3日間の闘病生活をされた後お亡くなりになりました。子どもたちも職員も大きなショックを受けていますが、どこかで「ナイス!」「OK 牧場」と私たちを見守ってくれていると思ひ、頑張っていこうと思ひます。

これまで、大塚先生に対してご支援をいただきましたことに、先生にかわりお礼申し上げます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。